

令和5年度 若狭東高等学校 スクールプラン



福井県教育委員会

「一人一人の個性が輝く、ふくいの未来を担う人づくり」

県教育振興基本計画基本理念

校訓、目指す児童・生徒像

【校訓】 進取・敬愛・誠実 【スローガン】 明日の若狭を創るのは君たちだ

学校教育目標(方針)

- 基礎学力の定着・生活習慣の確立に努めるとともに、個を伸ばす教育を発展させる
- 特別活動を推進し、集団活動を通じて自主性と社会性を育成する
- 人権尊重の精神に基づき、人権意識を高揚させる
- 地域との連携を深め、教育活動全体を通してキャリア教育を推進する
- 福井フューチャーマイスター制度を活用し、地域社会に貢献できる創造性豊かで有用な人材を育成する

業務改善のための取組

- 運営委員会で議題整理を実施し、職員会議時間を短縮
- 校内文書の簡略化、データの共有・ペーパーレス化の推進

人権教育の推進

- 人権学習をはじめとする教育活動全体を通じて差別を見逃さない、許さない感性と態度の育成
- 教職員研修を充実させ、教育活動全般での人権尊重意識の醸成

重点目標

1 学習支援

- 学習意欲・基礎学力の向上へ向けた、効果的な学習指導の推進
- ICTを活用した教育活動の推進とサポート
- 読書指導の充実と利用しやすい環境づくり

2 生徒支援

- 基本的な生活習慣とけじめのある生活態度や環境美化に関する意識の醸成
- 意欲的で活動的な生徒の育成
- 一人一人の見取りを強化し、身体的・精神的健康への留意と、いじめ対応の強化

3 進路支援

- 生徒の進路や生き方に対する意識の醸成
- 生徒個々の実情に合った進路情報の提供

4 地域連携

- 保護者と学校との連携を深めPTA活動を充実
- 同窓会活動の活性化

5 専門農業系指導

- 学科の特色を通じた地域に貢献する人材の育成
- 農業クラブ活動の活性化

6 専門工業系指導

- 学科への興味関心を持たせ、基礎学力を向上
- ものづくりの能力や心構えを身に付け、専門的資格を取得して、地域を支える人材を育成

7 専門商業系指導

- ビジネスに関する知識と技術を習得した社会の変化に対応できる人材の育成
- 職業人として望ましい態度の醸成

具体的取組

- a 「五つの心得」を推奨し、基本的な学習態度を向上させるとともに、授業研究会を複数回開催して、生徒の見取り力を高める
目標: 授業研究会3回以上
- b タブレット等を活用した深い学び実現のためのサポートを実施
目標: 使用環境(人的支援含む)に関する教員満足度90%以上
- c GoogleClassroomを利用して、読書習慣の啓発に努める
目標: 年間図書貸出冊数1,000冊以上

- a 年間を通じた挨拶運動の実施と、清掃活動に対する生徒自己評価の実施
目標: 不注意による遅刻者数2.0人/日
清掃自己評価毎学期実施
- b 生徒会行事(スポレク大会、学校祭)を主体的に実施できる体制を構築する
目標: 行事実施後の生徒満足度95%以上
- c 教育相談室や学年会との情報共有を密にし、必要に応じて有機的に各種サポートを実施
目標: 不登校等による進路変更者数半減

- a 進路ガイダンス、オリエンテーション、LT等を通して生徒の進路意識を高める
目標: 進路ガイダンス、オリエンテーション等後の振り返り時間設定3回以上
進路に関する面談回数前年比10%増
- b クラス・生徒の実態に即した進路情報提供体制を構築する
目標: 進路・学年との情報交換回数20%増

- a ホームページ更新やPTAだよりを発行し、学校の情報を保護者に提供する
目標: HP更新30回以上、PTAだより発行2回以上
- b 同窓会及び学校活動を会員へ広く広報し、同窓会活動への参加を活発にする
目標: 総会出席者のうち新規出席者10%以上

- a 地域社会や産業界と連携を深め、生産、調理・加工、販売に総合的に取り組める時間を設定する
目標: アグリマイスター認定者を2桁にする
- b 農業クラブでの学習成果を発表し、上位大会に出場する
目標: 北信越・全国大会での入賞

- a 実習を中心とした学習指導を充実させ、技術・技能・社会規範を習得させる
目標: 所属学科の活動に「意欲的に取り組んだ」という生徒80%以上
- b 資格や検定試験の受験を働きかけ、取得できるように支援する
目標: ジュニアマイスター認定者5名以上

- a 将来を見据え、意欲的に資格取得にチャレンジさせる
目標: 全商1級3種目以上表彰者3名以上
- b 地域等との連携による探究活動(課題研究)を推進する
目標: 課題研究等実践5本以上